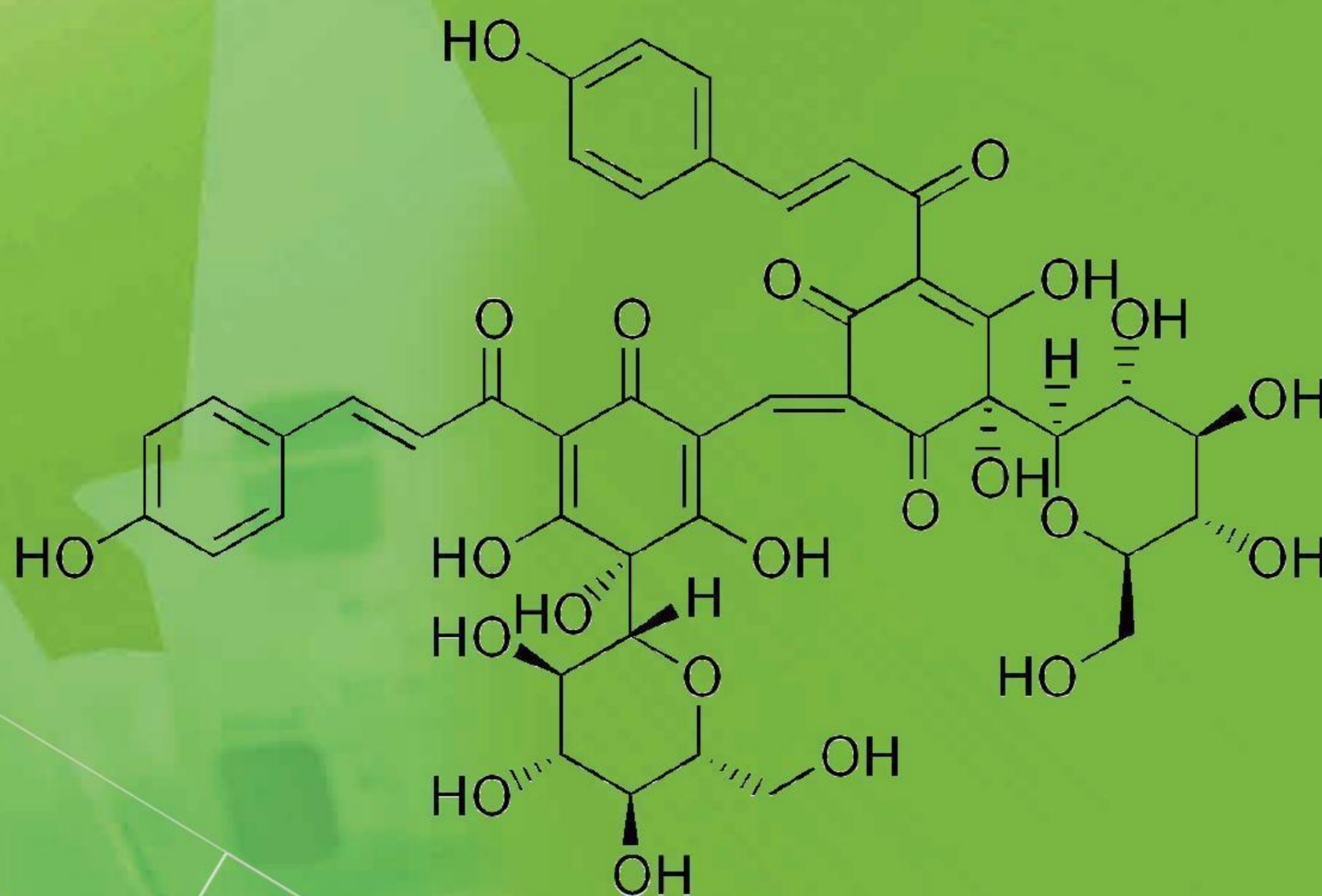


# 化学と歩む

～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～

マリー・キュリーのノーベル化学賞受賞から100年。

化学研究・教育に携わった女性たちは、どのようにキャリアを形成していったのか。  
そして今、どのようにキャリアを形成しているのか。



平成23年8月29日(月)～11月6日(日)

休館日：9月26日(月)、10月3日(月)、10月17日(月)

国立女性教育会館 本館1階  
女性アーカイブセンター展示室

開室時間：9:00～19:00

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地 電話 0493-62-6195  
東武東上線 武蔵嵐山駅下車 徒歩 12分

- |    |   |  |
|----|---|--|
| ■主 | 催 | 独立行政法人国立女性教育会館 <a href="http://www.nwec.jp/">http://www.nwec.jp/</a>                       |
| ■共 | 催 | お茶の水女子大学ジェンダー研究センター、東京大学駒場博物館、学校法人東邦大学、公益社団法人日本化学会、明星大学図書館、ライオン株式会社、名古屋大学物質科学国際研究センター（順不同） |
| ■後 | 援 | NHK さいたま放送局  |

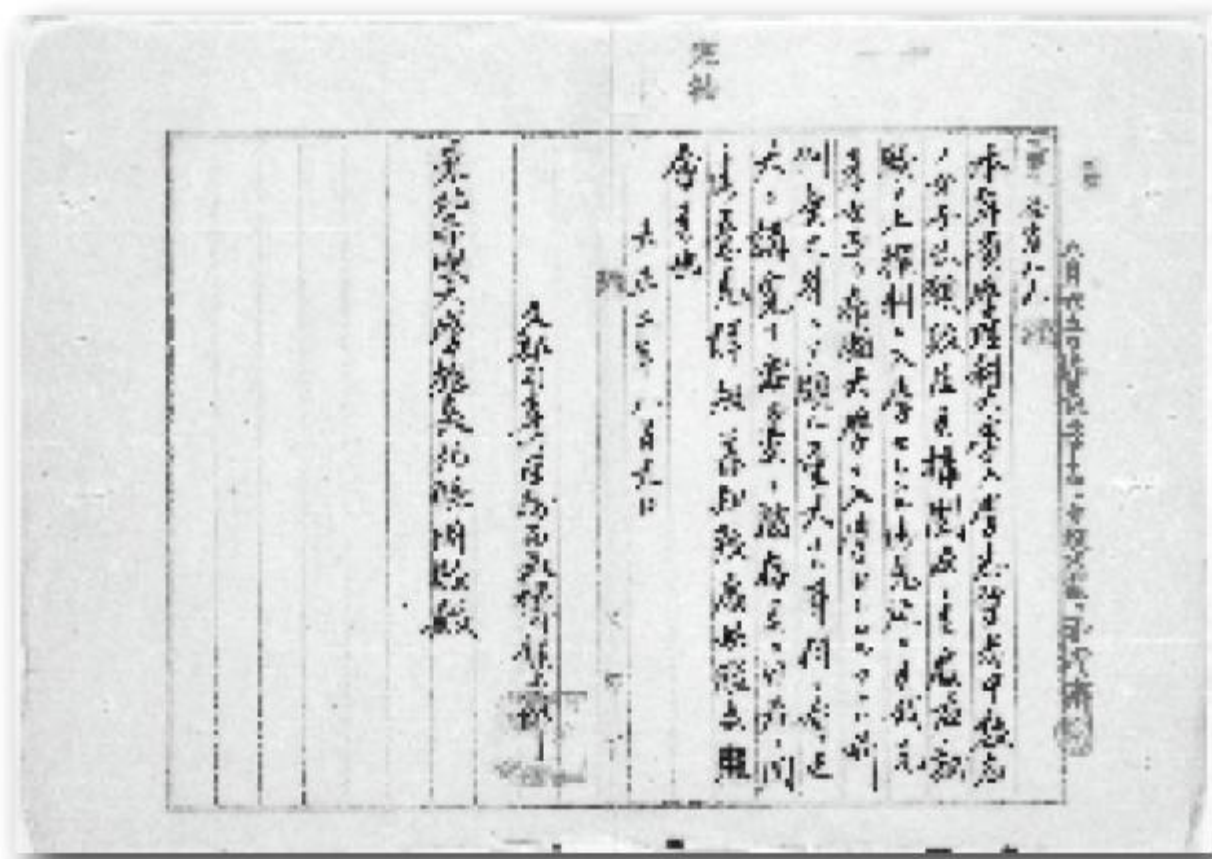
# 平成 23 年度女性アーカイブセンター企画展示

## 「化学と歩む ～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～」

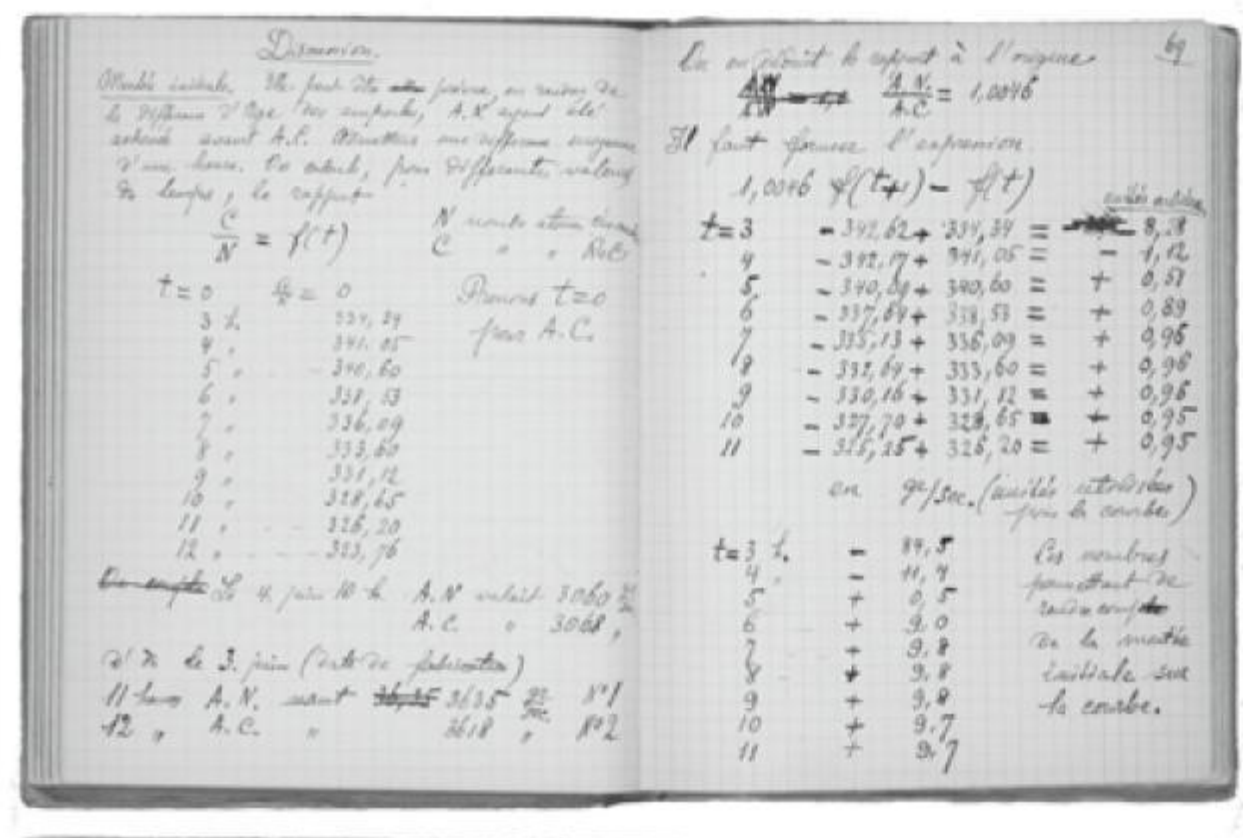
独立行政法人国立女性教育会館女性アーカイブセンターでは、女性に関する史・資料の収集に取り組むとともに、さまざまな分野で「チャレンジした女性たち」を紹介する企画展示をシリーズで行ってきました。今年度は、2011年＝国連の定める「世界化学年」であり、マリー・キュリーのノーベル化学賞受賞から100年目という記念すべき年にちなんで、化学に関連する分野における女性たちの活躍にスポットをあてます。

日本でも世界でも、女性の学術研究者は増えてきていますが、特に自然科学系においては男性と比べればまだまだ少なく、研究の成果等も知られているのはごく一部ではないでしょうか。

彼女たちが歩んできたこれまでの道のりを改めて振り返るとともに、現在の活躍のようすもご紹介します。



「女子入学に関する文部省からの照会」  
(東北大学史料館 所蔵・複製)



マリー・キュリーの実験ノート(明星大学図書館所蔵・複製)



帝國女子医学専門学校創立当時(大正 15 年 4 月)  
(学校法人東邦大学所蔵・複製)



荻野和子氏の講演の様子：実演を織り交せて(本人提供・写真)

展示資料・写真提供：お茶の水女子大学ジェンダー研究センター、東京大学駒場博物館、東北大学史料館、学校法人東邦大学、公益社団法人日本化学会、明星大学図書館、名古屋大学物質科学国際研究センター、荻野和子氏、永合由美子氏、ライオン株式会社、AIP Emilio Segrè Visual Archives

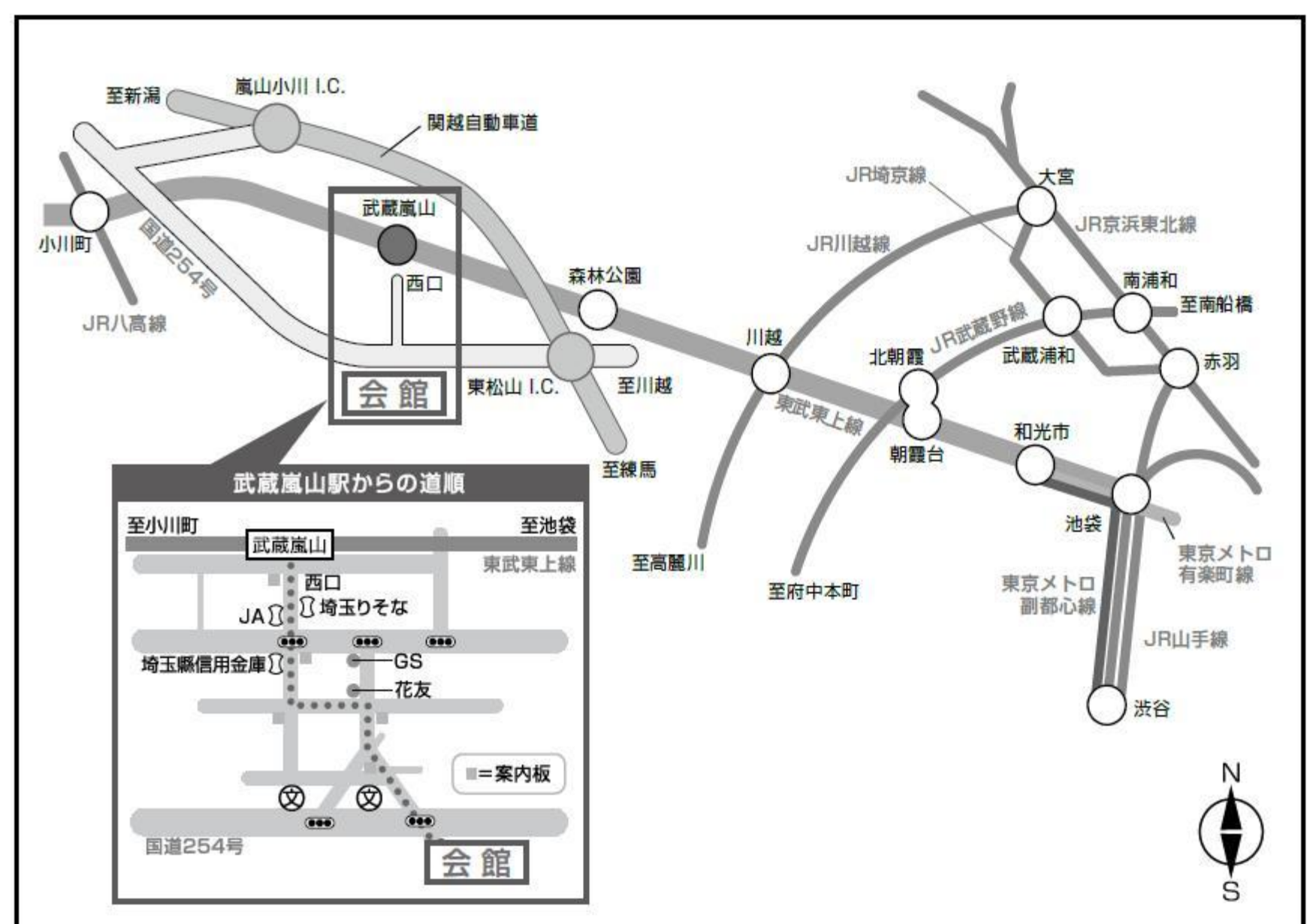
### 交通のご案内



- 電車では  
東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩で12分  
武蔵嵐山駅へは①池袋駅から東武東上線急行で60分  
②小川駅から東上線で7分



- 自動車では  
練馬I.C.から関越自動車道で35分の東松山I.C.から  
国道254号で15分、新潟方面からは嵐山小川I.C.  
から国道254号で15分



独立行政法人  
**国立女性教育会館**  
NATIONAL WOMEN'S EDUCATION CENTER  
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728  
<http://www.nwec.jp/>